

令和6年度第2回習志野市災害医療対策会議部会 会議録

1 開催日時 令和6年12月23日（月）午後7時35分～午後9時00分

2 開催場所 保健会館1階検診室

3 出席者

(1) 出席委員

【部会長】習志野第一病院 鎌田 尊人（災害医療コーディネーター）

【部委員】習志野市医師会 代表理事 三束 武司

習志野市医師会 理事 青木 隆

習志野市歯科医師会 監事 板谷 賢二

習志野市薬剤師会 副会長 宇野 弘展

千葉県済生会習志野病院 白石 博一（災害医療コーディネーター）

津田沼中央総合病院 新井 通浩

谷津保健病院 須藤 真児

(2) 事務局 健康福祉部 健康支援課長 河栗 太一

健康福祉部 主幹 健康支援課 篠塚 美由紀

健康支援課 救急医療・予防接種係 係長 橋本 法子
主査 高橋 美紀

4 議題

1) 会議の公開

2) 会議録の作成等

3) 会議録署名委員の指名

4) 報告

(1) 第1回部会の意見をふまえた病院前救護所体制案について

5) 審議

(1) 病院前救護所の医薬品備蓄と管理について

(2) 令和6年度現地調査について

(3) 令和7年度試行訓練案と今後の訓練について

6) その他

(1) 習志野市薬剤師会からの提案について

(2) 連絡事項

5 会議資料 令和6年度第2回習志野市災害医療対策会議部会に関する資料

(1) 次第

(2) 席次表

(3) 資料1 令和6年度第1回習志野市災害医療対策会議部会【確認・検討事項】に対する意見・結果

(4) 資料2 審議事項

(5) 資料3 病院前救護所 現地調査票

6 議事内容

1) 会議の公開

2) 会議録の作成等

3) 会議録署名委員の指名 鎌田部会長より、会議録署名委員として青木委員を指名。

4) 報告

(1) 第1回部会の意見をふまえた病院前救護所体制案について

【事務局 高橋】(資料1)

資料1は、第1回部会の確認・検討事項に対する結果をまとめたものとなる。概ね第1回で提示した案に対しての変更等意見はなかった。

第1回部会にて、資料1の「2. 検討事項について」、確認事項が提示されたため、報告する。鎌田部会長より、確認事項として「応急救護所用の県・保健所備蓄医薬品衛生材料を有事の際開設する薬局へ回すことは可能か」とあり、習志野保健所へ確認した。

習志野保健所の回答として、「応急救護所用の備蓄医薬品・衛生材料は県から市へ提供したもののため、市が責任を持ち管理する必要がある。そのため、薬局へ譲渡することはできない」との回答だった。そのため、応急救護所用の保健所医薬品備蓄については、救護所内のみで使用する事となる。報告は以上となる。

鎌田部会長：保健所の応急救護所用備蓄品は市の運営する場で使うため、薬局にて使うことはできない。病院内も同様か

三束部会員：災害時であるため柔軟に対応する必要がある。ある程度は仕方がない。

鎌田部会長：病院前救護所を設置することで病院の医薬品等が枯渇しないか心配はある。

薬剤師会確認事項として、1点目の開ける薬局と閉める薬局は薬剤師会で仕分ける、2点目の薬の貸し借りは薬局間でできるのかの2点あるがいかがか。

宇野部会員：現在、薬剤師会の中で災害の委員会が立ち上がっており、検討している。

1点目については、まだ病院前救護所体制は決定事項でないため具体的な内容は会全体に報告していないが、門前薬局は開けるよう協力を促していく。また、市薬剤師会員が登録しているeST（エスト）アプリは、会員の安否確認や、薬局を開けられるか、薬剤師を派遣できるか、薬局の被災状況等情報収集できるシステムがあり、1月にそのアプリを使い練習、訓練する予定である。

2点目は、薬局間の医薬品の貸し借りはやっており、薬局間で販売できる。

鎌田部会長：市薬剤師会に加入していないと、eST（エスト）アプリを使用することができないのか。

宇野部会員：会に加入していなくても使用料を払えば、eST（エスト）アプリ使用は可能である。門前薬局は概ね市薬剤師会に加入している。加入していないのはチェーン店等である。

5) 審議

(1) 病院前救護所の医薬品備蓄と管理について

【事務局 高橋】(資料2の1ページ)

近隣市の医薬品と衛生材料の備蓄と管理は(1)のとおりで、船橋市と八千代市は循環型で

備蓄医薬品衛生品を管理している。循環型は、応急救護所用医薬品備蓄分を病院に購入してもらい、補助金制度や負担金等で購入費を市が支払う。病院へそれらを含め医薬品・衛生材料を管理してもらう。

現状は、備蓄品の中には病院が使われていないものも含まれており、病院の持ち出しが生じていたと伺った。

また、病院前救護所体制になった場合、病院前救護所はトリアージと軽症者治療となるため、そこで使用する医薬品・衛生材料は現在より限られる。

これらより、本市の医薬品・衛生材料の備蓄は、市事務局での管理とし、医薬品衛生材料の備蓄内容を見直し必要最小限としたい。また、病院前救護所開設後すぐ使用するものであるため、病院での保管をお願いしたい。以上で説明を終了する。

鎌田部会長：市が用意するものは病院前救護所で使うもので、病院の中で使うものは市の管轄外ということ。市が購入し期限が切れたら入れ替える

三束部会員：市が購入したものを病院に納入し管理してもらうのはどうか

青木部会員：（医薬品備蓄の）期限が切れてまた買っては、時代に逆らった方法であり、予算的にも厳しいのではないか。病院前救護所となり医薬品の規模が小さくなっても、病院で医薬品を循環させていけば、かなりロスを防げ、長期的にみた場合医薬品に支払う費用も大きく変わってくる。市が購入したもの（医薬品備蓄）を病院で循環し、破棄を発生させないというのがいいのではないか。

病院前救護所になると、医薬品備蓄の種類も減り今より予算も減るということだが、10年、20年、30年、40年となると莫大な金額となるため、無駄遣いしないようにしてほしい。

事務局篠塚：10年、20年、30年の間、災害のために医薬品備蓄を病院に管理していただくという考え方でよろしいか。恐らく薬剤の内容や金額も変わっていく中で、ずっと病院に管理いただく。また、支払いの根拠を作らないと費用は出せない。

鎌田部会長：まず市が必要なものを一式そろえ病院で保管し、その中で期限が来る前に病院で使えるものは病院で使ってもらい、必要分は補充する。基本的に市が管理する。

青木部会員：10年、20年となった場合、薬剤は安くなったり高くなったり、新しいものができたりするため、当然入れ替えは必要となる。

病院が100で済むところを、市が100か200を置いてもらい使ってもらう。これは何か特殊な管理をするのではなく、在庫がその分増えているのみ。専用に分けて置くという運用はしないと思うが。

在庫の期限が切れてしまう、備蓄医薬品を変えてほしい等は適宜介入しないといけない。お金を出してもう知らないという話ではない。長期間では医薬品変わってくし、薬剤が廃止になったら当然変更しなければならない。その時また病院と市で購入する医薬品をすり合わせる。

各病院で全て同じ医薬品を使っているとは限らないので、備蓄する医薬品をリストアップし、同じ品目だが値段やメーカーが異なったりするので各病院と相談する必要があるだろう。病院と医薬品の内容をすり合わせることで無駄な医薬品が少ない運用をしていく。

鎌田部会長：病院で使いたいものをその病院前救護所用としておいてもらう。期限が切れる1年前ぐらいに病院で使ってもらい、その使用分を病院が市から買う。

鎌田部会長：各病院はいかがか。

白石部会員：循環型で備蓄医薬品の管理は病院でできる。補助金制度を用意してほしい。

新井部会員：最終的に決定するのは、院長と薬剤科との共通認識が必要だと思う。

市の方で必要なものをリストアップし、病院によって購入場所も違うので病院で準備する方がいい。最初の提案だと備蓄品を置くのに病院の大事なスペースを使われてしまうので、循環型の方がその辺が不要となるため循環型が望ましい。

須藤部会員：個人的には循環型の方がやりやすい。病院によって、使う薬品や診療材料も違うので、一定金額いただいて病院の方で使うものを用意していく方がよい。

鎌田部会長：実際にその病院で使うものはそれぞれの病院ごとに違うというところの、その病院ごとにというところに難しさがある。補助金方式というか、お金をお渡ししてという形の御意見が多かった。

事務局 河栗：その点については、補助金という形でお支払いするのは現状として難しい。どういうやり方でできるかは市の方で研究させていただきたい。

青木部会員：提案だが、病院ごとに使用している医薬品（のメーカー等）はそれぞれであるため、まず備蓄品目のリストを作り、病院で使用しているものとすり合わせを行う。お金を病院に渡し備蓄医薬品を購入、購入後の管理も病院に委託するというのはどうか。購入から管理まで委託するというのはどうか。

事務局河栗：市の予算の組み立てとしては色々なやり方ができるので、現実可能な方法で対応できるように財政当局と交渉していきたい。

宇野部会員：急病診療所の医薬品も期限切れで破棄するものがあり、以前から薬剤師会員の薬局で使用している薬があったら交換して期限切れをなくそうとアプローチしてきたが、市の財産であるため移動できないという理由でできなかった。今回、この方法を進めるのであれば、こちらの趣旨を伝えた上で、一度保健所へ薬の売買や貸し借りは可能かどうか確認した方がいいのではないか。

事務局河栗：各病院の負担が心配でこのような提案をさせていただいたので、今日前向きな意見をいただいたので、循環型がきるように検討を進めていきたい。

鎌田部会長：病院前救護所の医薬品備蓄と管理の事務局案は決定事項とならなかったが、今後も循環型への課題を検討していただきたい。

（２）令和６年度現地調査について

【事務局 高橋】（資料２の２ページ、資料３）

現地調査の目的は、病院前救護所体制の骨子を基に、会場ごとの具体的な配置図や運営方法の詳細等を検討・作成するためとする。時期は来年の２～３月を予定している。

方法は、健康支援課職員が各病院に出向き、主に①病院前救護所設置予定場所の確認、②中等症から重傷者の搬送場所・動線の確認 ③病院前救護所備蓄品保管予定場所の確認 を行うこととする。これらを確認するため、病院職員の方の立ち合いもお願いしたい。

現地調査での確認事項７点で、資料３のとおりとなる。

１点目はトリアージと治療場所のスペースと配置、２点目は病院における傷病者受付からトリアージ、中等傷病者の院内受け入れ及び軽症者治療の流れの確認、３点目は院内のトリアージ黄・赤・黒の搬送場所の確認、４点目は病院前救護所で使用する備品や備蓄医薬品等物品置き

場、5点目は必要備品・市が購入すべき備品の確認、6点目は有事の際の院内感染症ブースの有無や取扱いの確認、7点目は有事の際の院内情報集約部門の場所と院内の情報やりとり方法の確認 としている。

他に確認事項等意見があったら伺いたい。また、現地調査の日程調整については、部会員を通じて相談したい。以上で説明を終了する。

鎌田部会長：病院の方でも病院前救護所の物品置き場や設置場所等事前に検証してほしい。

青木部会員：病院前救護所と病院内との情報やりとりの方法だが、現存の病院内システムに沿った形でできるとよい。各病院の現在のシステム・方法はこういった形か。病院の負担になる可能性はあるが、現存の方法で病院前救護所分数台を用意してもらうことは可能なのか

白石部会員：現存の病院トリアージ・緑で使用しているシステムはそのまま病院前救護所で使用してもらう。

新井部会員：PHSを貸し出しても病院のシステムをすぐに使いこなせるか心配はある。どこに連絡すればいいのか等。ルール作りから必要。病院前救護所はひとまず院内本部連絡がつながればよいと思うので、必要な連絡先を決めリストアップをしたいと思う。

須藤部会員：まだ詳細のルールは決まっていない。来年中に院内の連絡手段についてはスマートフォンに切り替える予定。災害用のPHSを病院前救護所へ用意することはできる。あと連絡先は院内の災害対策本部がすぐ設置されるため、そこと病院前救護所とのやりとりが一番大事だと思う。

鎌田部会長：第一病院はトランシーバーを今後検討中。

青木部会員：各病院の既存の情報伝達ルートを乱さず、できれば既存のもの使い一緒にやったほうがスムーズだと思う。

鎌田部会長：2・3月に実施する現地調査時までには、各病院にて情報ルートを考えてもらいたい。

（３）令和７年度試行訓練案と今後の訓練について

【事務局 高橋】（資料２の３ページ、４ページ）

資料２の３ページの（１）は今後の訓練案の概要を示したものである。

令和７年度の訓練は、病院での試行訓練と総合防災訓練内で医療本部・応急救護所訓練を実施する。

試行訓練は、各病院の防災訓練日に合わせ、４か所での試行訓練を実施し、主は健康支援課・事務局が参加し、病院前救護所の配置と流れの確認を行う。

医療本部と現応急救護所参集メンバーは、総合防災訓練にて、現体制の医療本部・応急救護所訓練実施する。

健康支援課事務局で年４回各病院での試行訓練を実施するため、訓練については医療本部と４か所の応急救護所訓練のみへ縮小としたい。

また現体制の訓練を実施する理由は、現在準備を進めているが実際の病院前救護所体制は令和９年度からとなり、その間に発災した場合は現応急救護所体制であるため、現体制の訓練は必要となるため実施することとした。

令和 8 年度の訓練は、4 か所の病院で実施し、各病院へ各応急救護所参集メンバーが集合し、訓練を実施する。例えとして、保健会館参集メンバーは第一習志野病院へ集合、一中参集メンバーは津田沼中央総合病院へ集合、二中参集メンバーは済生会習志野病院へ集合、七中参集メンバーは谷津保健病院へ集合し、訓練を実施する。

会場での訓練内容は、各病院の訓練企画者と調整を行う必要があるが、1 つは病院前救護所の設営とレイアウト・必要物品等の確認、2 つめは参集メンバーと院内のトリアージ赤・黄・黒の搬送場所の確認、3 つめはトリアージ緑・黄・赤・黒等傷病者ごとのロールプレイングを行い、傷病者来院～軽傷病者治療ブース・院内各ブース搬送を実施し、流れやレイアウトを確認、4 つめは院内本部と病院前救護所の情報伝達を行い、連絡方法等を確認、5 つめは医療本部の病院前救護所等との情報伝達等訓練の実施 を考えている。

病院前救護所体制変更後の令和 9 年度の訓練は、8 年度同様 4 か所の病院で実施する。各会に会場ごとの参集メンバーを振り分け、各病院前救護所参集メンバーとして実施する。

医療本部は病院前救護所と共に実施し、机上訓練・EMIS 入力・情報伝達等訓練を実施する。

検討事項 1 点目は、令和 7 年度の 4 か所の病院前救護所試行訓練は、病院防災訓練時に事務局のみ参加し、病院前救護所の配置と流れの確認をしたいと考えている。まず、病院の訓練への病院前救護所訓練の実施は可能か否かを伺いたい。また、総合防災訓練は医療本部と応急救護所訓練として縮小したいかがか。

検討事項 2 点目は、令和 8 年度以降は応急救護所参集メンバーが 4 か所の病院にて訓練することを計画している。訓練は院内との連携をはかる形での実施が望ましいが、どのような日程でどのようなやり方で行えるか、4 か所の病院等の現状等伺った上で検討したい。以上で説明を終了する。

鎌田部会長：令和 7 年度の訓練は、基本的には総合防災訓練で行い、それ以外に病院防災訓練時に病院前救護所試行訓練を実施する。

第一病院の訓練は消火訓練が主であるため、病院の訓練日とは別日で実施したい。

白石部会員：済生会習志野病院の訓練への病院前救護所訓練の参加はウエルカムである。病院の訓練は例年 9 月の平日の午後である。日曜日の実施は難しい。

新井部会員：津田沼中央総合病院は、例年防災訓練は手術を実施していない木曜日の昼前後で行っている。訓練は総務課と災害対策委員会で企画しているため日程調整が必要。

須藤部会員：谷津保健病院の訓練と一緒に実施するのは可能である。例年訓練は土曜日の全館停電時に合わせて実施している。電気が止まっており、エレベーターも止まった状況の中実施している。市の職員は土曜日の参加は可能なのか。

青木部会員：令和 7 年度の試行訓練の手ごたえをみて令和 8 年度の訓練方法を考えてみてはどうか。病院、三師会員の都合もあるので、こういった形でやるのがいいか。8 年度から前もって病院前救護所訓練をしないとイケない。

三師会員は平日の訓練参加は難しい。令和 8 年度の訓練については、日曜日に（院内とは別に）病院前で想定をしながら実施するのも一つの方法か。

以上で本日の審議を終了する。

6) その他

(1) 習志野市薬剤師会からの提案について 【宇野部会員】

3点提案がある。1点目については、臨時調剤所の設置とその予算額を要求してもいいかどうか。臨時調剤所は門前薬局が機能しなくなった時に設置する。最低限の調剤ができる。設置場所は要望があった場所。病院前救護所へ移行する初年度に必要な備品を検討し購入する流れがあるので、その際に臨時調剤所分も予算立てるのはどうか。

2点目については、災害処方箋について現実的に使用する方向になっているので、災害処方箋のたたき台を薬剤師会で作っていいか確認したい。

3点目は市と卸業者の災害協定の有無の確認についてである。以上である。

事務局篠塚：救護所でもスペースがあればできるのか。いくつ必要か。

宇野部会員：スペースが確保できれば可能。必ずしも使うわけではないが、あくまで門前薬局が機能しなくなった時、最低1か所分。

事務局篠塚：必要な物品は何か。

宇野部会員：臨時調剤所の設置に必要なものはテント、ライト、風よけの机、流し（汚水を捨てるバケツ等）、18リットルの精製水があげられる。加えてスケールやライトを使用するための発電機。もし電気が使えなければ分銅を使った計器を使用する。

鎌田部会長：どんな薬剤を調剤できるのか。

宇野部会員：ニーズがあれば、水薬を作れる。

鎌田部会長：現地調査にて、病院前救護所で臨時調剤所のスペースが確保できるか合わせて確認していく。

宇野部会員：災害処方箋については、薬剤師会でたたき台を作成するでよい。特に規定はないため内容は市が決めていい。フリー記載にするか、約束処方を決めチェックを入れるだけにするのか。

鎌田部会長：災害処方箋のたたき台は薬剤師会にお願いします。

宇野部会員：本市と卸業者の協定は結んでいるのか

事務局高橋：市は卸業者と協定は結んでいない。県が医薬品卸業者と協定を結んでいるため、結ぶことが結ぶことは難しい。

(2) 事務連絡【事務局 高橋】

第2回災害医療対策会議は1月20日（月）午後7時30分から開催予定。改めて会議の開催案内を送付する。会議では第1・2回部会での報告を行う予定。

現在、現委員の任期は令和7年1月末をもって満了となるため、次期委員の推薦書類を依頼中のため回答をお願いしたい。

【鎌田部会長】 これをもって令和6年度第2回習志野市災害医療対策会議部会を閉会する。